

対象地域：流山市・柏市・松戸市

# 地域で子ども達の幸福度を救え！ 支援するされるの垣根を超えた、 総合体験提供事業

## ～食・学び・社会貢献体験～

2017年 南流山子ども食堂  
2025年 特定非営利活動法人 子どもえんてらす  
スタッフ 約120名

**Our Vision** 全てのこどもが自らの存在価値を感じ、  
ありのままに社会に羽ばたいていく社会

### これまでの活動

居場所 ハイリスク対応 体験格差

¥

のべ12,257名



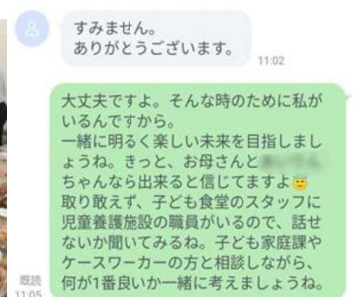
1.居場所  
子ども食堂（5032名）



2.居場所  
学習支援（241名）



3.ハイリスク対応  
食材配布・お話会  
（6984名）



4.ハイリスク対応  
ライン無料相談  
（現在登録者800）



5.ハイリスク対応  
家庭訪問



6.啓発活動  
講演会・メディア出演



7.体験  
理科体験教室（43名）



8.体験  
青空えんてらす

# 日本の子ども達が抱える課題

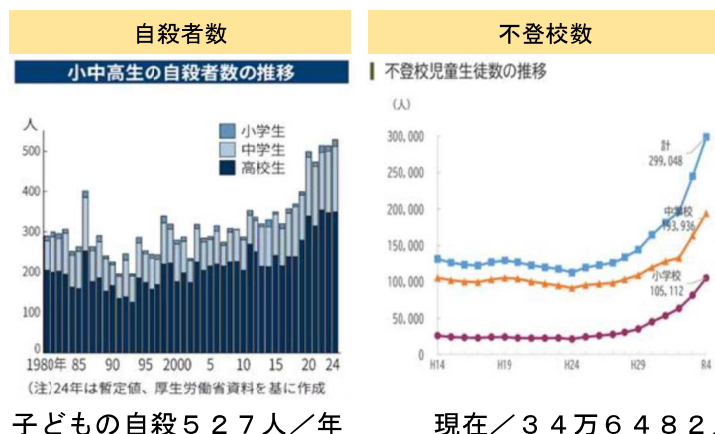
青空えんてらす



子どもがボランティアになる活動

何故今、子ども自身がボランティアをするべきなのか？

日本の子どもの精神的幸福度は、先進国でほぼ最下位。



子どもの「体験格差」  
チャンス・フォー・チルドレン  
調査から

小学生の子どもがスポーツや習い事など学校外での体験活動を「何もしていない」(直近1年間)

物価高騰で  
学校外での体験機会が  
「減った」「今後減りそう」

|                                              | 世帯年収    |                  |         |
|----------------------------------------------|---------|------------------|---------|
|                                              | 300万円未満 | 300万円<br>600万円未満 | 600万円以上 |
| 小学生の子どもがスポーツや習い事など学校外での体験活動を「何もしていない」(直近1年間) | 29.9%   | 20.2%            | 11.3%   |
| 物価高騰で学校外での体験機会が「減った」「今後減りそう」                 | 50.6%   | 47.2%            | 34.7%   |

経済格差による体験格差が著しく、自己肯定感、学力格差・経済格差に繋がるデータが出ています。

## 子ども食堂に一般参加と 子どもボランティアとして参加した時の差

|                | 居場所として認識 | 社会貢献素 | 自己肯定感向上 |
|----------------|----------|-------|---------|
| 一般参加           | 74%      | 11%   | 5%      |
| 子どもボランティアとして参加 | 100%     | 89%   | 22%     |
|                | 1.5倍     | 8倍    | 4倍      |

NPO法人子どもえんてらすアンケート結果

### 【アンケート結果のまとめ】

一般参加でも、居場所としての認識や、多少の社会貢献・自己肯定感向上への効果はあるが、一方でボランティアとして参加したほうが、より効果が高い。特に「社会貢献素地」「自己肯定感」に関しては、4～8倍の違いが出る。

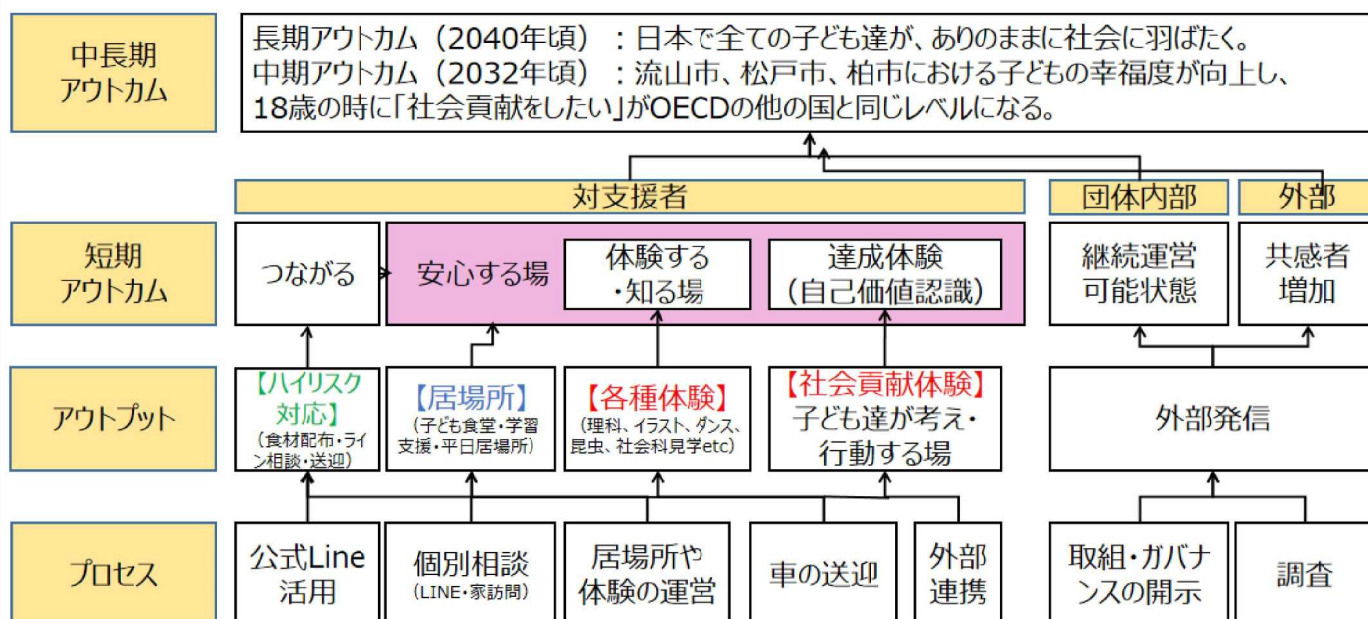
# 8つの既存事業に加えて下記の事業を強化・新規展開

対象地域・・・ハイリスク層（流山・松戸・柏）  
ローリスク層（流山）

|             | 事業                      | 詳細                                                                                                                                |
|-------------|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 体験          | 社会貢献体験支援                | 既存の「青空えんてらす」をベースに子供は支援されるもの、という枠をこえ、「地域で子どもが何を出来るか」子供が発案し実行する社会貢献体験の種類を増やし、 <u>強化して</u> 、主体性、自己肯定感の向上をはかる。子ども達と「社会貢献との縁」を「照らす」活動。 |
|             | ①文化活動支援                 | 主に音楽鑑賞や絵画教室、ダンス教室などを指し文化芸術に関心を抱けるようにするべく、子ども達と「文化との縁」を「照らす」活動。                                                                    |
|             | ②社会体験活動支援               | 年2回程度。主に社会科見学とを指し、国会議事堂、工場見学など社会に関心を抱けるような、「社会体験との縁」を「照らす」活動。                                                                     |
|             | ③職業選択支援                 | 体験格差による将来の職業選択格差を解消すべく、中高生をターゲットに各分野のプロフェッショナルを呼んで、それぞれの本物の世界観を体験してもらう「プロフェッショナルとの縁」を照らす活動。                                       |
| 居場所         | フリースクール<br>「学び場えんてらす」   | 学校に行かない選択をしている子どもを対象。<br>平日昼間に開催し、保護者も含めてお昼には食事を提供し、時には一緒に作ります。先ずは週2回、扉のない公民館から開始。                                                |
| ハイリスク<br>対応 | 送迎サービス支援<br>「お出かけえんてらす」 | 事情のある子供に対して、自宅まで信頼関係のあるスタッフが迎えに行き、フリースクールや各種イベントなど社会へと出やすいようにする、「お出かけの縁」を「照らす」活動。                                                 |

## ロジックモデル

**Our Vision** 全てのこどもが自らの存在価値を感じ、  
ありのままに社会に羽ばたいていく社会





皆様へのお願い

- 講演会・セミナーに呼んで下さい。
- 見に来て下さい。

→理由

共感者、活動の真似をしたい人、寄付者を増やしたいから。

## 南流山子ども食堂 NPO法人子どもえんてらす



メール: [minaminagareyama.kodomo@gmail.com](mailto:minaminagareyama.kodomo@gmail.com)



電話番号: 090-6048-5603



HP: 「南流山子ども食堂」で検索



公式ライン・お問合せはこちら